

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

放射性物質の対策を求 める住民請願に関して

今期の第 4 回定例会に「町田市に対して放射性物質に関する各種の対策を求める請願書」(請願者:町田市の放射線量を測定等する有志の会 代表 南淵明宏氏)が提出されました。

この住民請願では、(1)町田市が住民と協同して空中放射線(通常、シーベルト数/毎時)を測定すること、学校などでは、さらに土壌の放射性物質の含有量(通常、ベクレル/kg)の測定と公開を求めています。あわせて、高線量箇所の場合は、除染や、ストロンチウムやプルトニウムなどの核種にも測定を拡大することを求めています。

また、学校給食の放射性物質の含有量(通常、ベクレル/kg)の測定や、毎日児童が飲む牛乳においては、放射性物質の含有量をゼロベクレルに近づける努力をするよう、町田市がメーカーに要求することを求めています。

町田市が福島第 1 原発事故による放射性物質の大量飛散に伴う放射能汚染に関して、町田市の取り組みが極めて消極的であったことは、この間、私が一貫して述べてきたことです。また、町田市住民による空中放射線測定、土壌の放射性物質の土壌測定結果をいち早く公開し、さらに私は学校給食用牛乳の汚染調査を継続して、広報してきました。

この住民請願は、14 日に健康福祉常任委員会で審査し、全員が一致して採択しました。22 日に本会議で採決される日程になっています。行政に方針転換を求めています。

空中放射線量を、住民が自主測定

<町田市の放射線量を測定等する有志の会>
<http://sokutei-machida.jimdo.com/>

私自身、この空中放射線を測定するγ線測定器を手配し、いくつかの箇所で測定を行ってきましたが、この度、新たに出来た「町田市の放射線を測定等する市民有志の会」より照会・依頼を受け、JR成瀬駅の南北駅前広場で定期的な測定作業を実施することにしました。単位のマイクロシーベルト/hour を省略しています。

測定日 12/10 (土) 午前 10:20~10:30

天候 晴れ JR横浜線成瀬駅前広場

成瀬駅南口 高さ 5 cm 0.07~0.12

高さ 1 m 0.05~0.13

成瀬駅北口 高さ 5 cm 0.03~0.07

高さ 1 m 0.04~0.12

町田市民病院と公共交通網

私が所属する健康福祉常任委員会において町田市民病院への公共交通機関の路線拡大やバス停から病院までの距離に関する意見が相次ぎました。

従来は、鶴川地区~市民病院間の運行を求める要望が多かったのですが、南地区の場合は全て町田駅がターミナルになっており、どのバスに乗っても町田市民病院に直行できる路線はなく、全て町田駅で乗りかえることとなります。

高齢者が多くなったこと、かかりつけ医だけでなく、一定の設備を要する医療機関での診療を受けたいとする考えが根強いことの両面で、市民病院直行ルートは拡大は欠かせない時代を迎えたのではないかと考えます。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



双方向の情報交流

明治の粉ミルクから放射性物質が検出された事件

「明治」の春日部工場で製造された大量の粉ミルクが、放射性セシウムに汚染されていることが分かりました。今回も、メーカーの自主測定で発見されたのではなく、市民団体の調査を再測定したことで発覚したものです。

「明治」は、全量を取り替えるとしています。既に幼児が飲用した可能性が高くなっています。驚くことに、今回も政府や御用学者は「直ちに健康に影響がない」としています。

町田市議会 6 月定例会で常任委員会が付帯決議したように、町田市が牛乳の定期測定を実施・公表しておれば、この「明治」の粉ミルクの放射能汚染は幼児が飲用する以前の段階で発見されていた可能性があります。児童に給食を食べさせる町田市の行政や、乳業製品のトップメーカーである「明治」の企業統治責任意識の欠如がこの事態をもたらしているものであり、非常に残念です。

月刊経済誌「実業界」、私の牛乳調査をトップ記事に

10 月 24 日発売の「週刊 東洋経済」誌は、「給食の牛乳からセシウム 説明を怠る明治と町田市」の記事で、社会的に大きな影響を与えました。事前に取材を受けた町田市は、同日、製造者の「明治」に測定結果の公表を求めました。ただし、その文書の存在を第 4 定例会の一般質問まで公表せずにいました。

さて、こうした状況下、月間経済誌「実業界」1 月号 (12/1 発売) は、ヘッドレポート第 1 記事として、私の取材記事＝＜乳業トップ「明治」の学校給食牛乳でセシウム検出するも説明避ける問題姿勢＞を掲載しました。



経済誌業界で老舗の一つになる、この雑誌の掲載記事は、株価にも影響を与える重みを持っています。これまで乳業業界では時のトップ企業（ヒ素混入事件を隠した森永、汚染を放置して集団食中毒を起こした雪印）が不祥事を起こして社会的な制裁を受けましたが、まとも、現在の乳業トップの「明治」が隠蔽体質を改善できないでおり、そうした体質は大きなシッペ返しを受けることを指摘しています。

ところで、粉ミルクへの放射性物質の混入事故では、新聞・TVが大報道しましたが、この学校給食牛乳の放射能汚染・非公開問題では、ほとんど、沈黙状態であり、その報道姿勢自体が問題となる時がいずれくると私は思っています。

＜インターン生を募集中＞

詳しくは、吉田つとむのHPをご覧ください
<http://j-expert.jp/tosei/int/main.html>

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail : yoshidaben@gmail.com